

～卒業式まであと8日、終業式まであと21日～

生活指導だより  
第100号

そろえる

溝辺中学校  
令和6年3月4日発行

神割池

Try for Next Stage!!

校長室便り第33号 R6.3.4(月)より

ついこのあいだ1月のカレンダーをめくったばかりでしたが2月が見事に逃げきって、ついに3月となりました。我が家では早朝から「ホーホケキョ」とウグイスが鳴き出し、春の訪れを届けてくれています。遠くに見えていた公立高校入試もまだまだ先の話と思っていたのに、unbelievable!! 明日には1日目が始まります。本当に光陰矢の如しとはよくいったものです。3年生が登校するのも残りわずか・・・公立不受検の生徒が8日、受検する生徒に至っては残り6日となりました。カウントダウンもあったものではありません。この調子で行くと卒業式や公立発表もあっという間に過ぎ去っていきそうです。

さて、学級のゴール＝学級目標の実現に向けて、クラスで様々な声掛けや取組が行われていることと思います。3年生は本当に中学校生活ファイナルですので12日(火)の卒業に向けて、締めくくりに入っていくこととなりますが、どの学年であっても、どのような着地点にしたいのかということイメージすることが大切だろうと思います。ただ、残された期間だけでなかなか思うようにはいかないもので、4月からの長い学校生活の積み上げがここにきてものを言うのも確かですが、ゴールへ向かって目標に近づき今年度を終えてほしいです。最も願う意識として一般的なものが「この学級でよかった。」というものだろうと考えます。このような意識は、その学級がまとまっていたとか、仲間関係が良好であるとかなど、どちらかといえば人間関係に関わった部分が大半であろうと想像します。



もう1つ加えるとすれば、“前へのベクトル”です。「この学級でよかった。」という言葉は大切な感情ですが、どちらかといえば情緒的であり、ベクトルが過去に向いているものです。本校は1学年1クラスですが、「〇年生の頃がよかった。」(もしくは中学校の頃がよかった。)と前年の思い出に浸ることなく、尾を引くことなく「この1年間で自分はこれだけ成長できた。来年度(春から or 新学年で or 新たな場所で)はこれまでの経験を、学びを生かして頑張ろう!」というような気持ちを抱いて今年のフィナーレを迎えてほしいところです。これこそが、3学期のスタート、始業式の時に代表発表者の多くが言葉にして、この2ヶ月間を通して取り組んできた「0学期」に通じるものです。登校日数は3年生が最初に書いたとおりの数日、1・2年生も20日もありませんが、目指す学級に近づくために「そろえる」に加え、「こだわる」活動を何かに絞り、良い形でやりきって新年度に向かいましょう。特にここまで本校をリードしてきた3年生には、残された日々、言動や後ろ姿で範を示し、学び舎から巣立って行ってほしいものです。1年間の最後になります。やり直しはききません。次のステージにつながる3月を生徒とともに創り上げられたらと思います。